

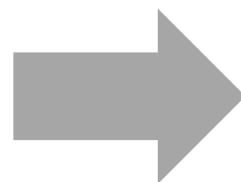
# 火災対策 – OFケーブルに対する火災防護対策 –



ワーキングの詳細  
はこちらから

## 論点No.65

発電所では、材料に絶縁油を含んでおり火災が発生しやすい「OFケーブル」が使用されているが、原子炉の安全に影響はないのか。

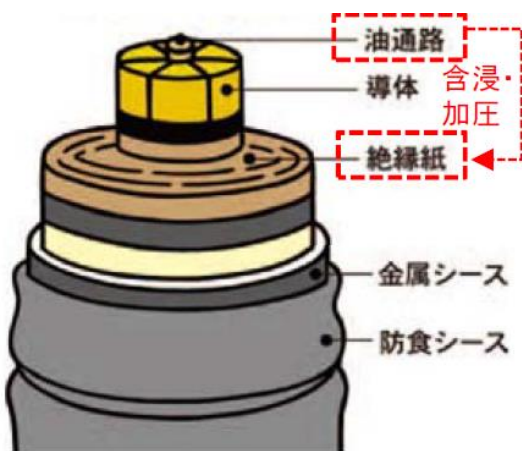


第18回ワーキング  
(2021.2.16) で議論

## ワーキングチーム検証結果

「OFケーブル」は安全に関わる設備に使用していないこと、それらの設備から隔離されていることを確認した。

## ワーキングチームにおける説明（抜粋）



OFケーブル：  
Oil Filled cable の略。内部に絶縁油を満し端部に設けたタンクで油圧を調整し油中の気泡発生を防止する高電圧ケーブル

## OFケーブル敷設状況（コンクリート洞道）



- 「OFケーブル」は、送電線に接続する開閉所と変圧器の一部に使用しているが、火災防護が必要な設備には使用しておらず、かつ、それらとは隔離されており、仮に火災が発生しても影響を与えない。
- 「OFケーブル」は、定期的な点検により健全性を確認した上で、ケーブルルート上の不要な可燃物の排除を行い、万一の火災時の拡大防止を図っている。
- なお、今後計画的に、これらの「OFケーブル」は「CVケーブル※」に取り替えていく。

※CVケーブル：架橋ポリエチレンを絶縁体とし、塩化ビニルで被覆されている電力ケーブル